

Do you love Whisky?

Tokyo BAR Book

W H I S K Y C A T

序章

気がつけば

閉店してしまった BARたちに
感謝をこめて LOVEメッセージ

疲れた身体で

カウンターに座り

やさしくしてくれた

バーテンダー

そして

差し出された

美味しいカクテル

すべて

心の中に封印

きっと、これが

ハートカクテルなんだね…

たとえ

カタチが存在しなくなっても

そのBARで培われたDNAは

どこかで繋がり

受け継がれていることを

わたしは

知っている



バー・カメラリア*東京ステーションホテル（2006/3閉店）

あの東京駅の赤レンガ駅舎にある
東京ステーションホテルにあった

「バー カメラリア」

オープンは昭和**26**年
元号をまたぎ
平成**18**年**3**月閉店になった

丸の内を代表するクラシックバーだ

55年という歳月を
駅の待ち合わせで
または、
商用で
様々なお客様が
訪れたことだろう

このバーには
BGMがない

シェーカーの音と
外から聞こえる列車の音

「列車の音を楽しめるバー」

ということでも知られていた

このお店の空間は
とても落ち着いた

たぶんホテルの部屋を
改装して作ったと
いわれるバーだからかもしれない

広めのホテルルームのバー

そう思うと納得する

ここは

なぜか昭和を感じる

懐かしいBAR

この場所だけが

時間が止まって

しまったような空間

ゆっくり時間が流れていくBAR

そう思いながら

スタンドグラスから

行き交う電車を見ながら

ウイスキーを飲む

電車の発信音が聞こえる

あの場所で

もう

飲めないのが

本当に

残念だ

銀座老舗バー「クール」

「客が良い店を作るのだ」
そう言ったのは
ここのオーナー・バーテンダー
古川緑郎氏

55年の歴史あるBARが
銀座コリドー街近くにあった

クールの由来は
煙草のKOOLから

1948年開業

バーテンダー古川緑郎氏の

88回目の誕生日2003年11月19日閉店

ここはスタンディングバー
カウンターとテーブル席

カウンターの中では
バーテンダー
ホールでは
女性が
お客様のおもてなしをしている

大正・昭和初期の風情が
ここにあるような気がした

どのスタッフも熟年であるだが
きびきびとした動きである

カクテルグラスに
チェリーを沈める
デコレーションは
オーナー・バーテンダーの
古川緑郎氏が広めたとも伝えられる

ウィスキーもあるが
オリジナルカクテルも
たくさんある

小さなメニューがあり
クールNo1からはじまる
カクテルはマティーニ
ギムレットなどがある

クールNO.11をオーダー
ドライジン1/2
キルラッシュ1/2
をシェイク

グリーンチェリーを添えてお洒落に
ショートかなり辛口系

人生の達人のバーテンダー
ママさんのおもてなしは・・・

名前は、クールだけど
ハートはあたたかいお店

カウンターの木目が年輪とあたたかく
そしてやわらかい印象でなごむ

今は
こころの中で
クールを飲む

当時のお店の住所：
東京都中央区銀座7-2-14
営業時間/午後5時-11時 土日祝休

※KoolはCoolのスラング的つづり

後にこの場所はこのバーと縁のある遠山正道氏経営の「銀座ストック」になる。